

GE-1-i-06	<b>A 政治思想史</b>	第1学年	後期 選択必修	1.5単位
<b>担当者</b>	川口 雄一			
<b>一般目標 (GIO)</b>	20世紀を代表する政治学者・政治思想史家、丸山眞男の政治思想と思想史学をつうじて、科学的思考とデモクラシーとの関係を理解する。主に西洋と日本の政治思想史、政治理論の知識を習得し、いま世界で起こっている社会的な出来事（身近な出来ことをふくむ）を自分なりに分析できることが目標。			
<b>到達目標 (SBOs)</b>	1 「政治」に関する基本的概念について一定の理解を得ることができる。 2 日本・西洋・中国を中心とした「政治」をめぐる思考様式について一定の理解を得ることができる。 3 アジア・太平洋戦争を経験した日本において「近代」政治思想のもつ意義を理解できる。 4 現在の政治現象や政治・社会問題について多角的な考えをもち、議論することができる。 5 『政治学事典』等の専門辞書を引くことができる。			
<b>受講心得・準備学習等</b>	(1)「政治」という現象（たとえば「権力」「コミュニティ」など）を身近なところで発見したり考えたりすること。(2)古典的かつ世界的な小説を読むこと。(3)政治・社会のニュースを毎日把握すること。(4)『政治学事典』等を引くこと。その他授業内で示す。			
<b>事後学習・復習等</b>	(1)丸山眞男の作品を読むこと。(2)友人たちと議論（おしゃべり）すること。(3)高校世界史・日本史・倫理・政治経済を適宜復習しておくこと。(4)『政治学事典』等を引くこと。その他授業内で示す。			
<b>オフィスアワー</b>	講義時間の前後に受けつける。			

### 授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式（予定）
回	項目	内容
1	ガイダンス	(1)講義概要 / (2)政治と政治思想史 *「目的のためには手段を選ばない」?
2	丸山眞男：人物・思想・学問	(1)生涯と人物 / (2)代表的な丸山眞男研究（先行研究の紹介）
3	敗戦直後の丸山眞男	「超国家主義の論理と心理」ほか
4	「自然」と「作為」(1)	近代における人間像と世界像 *朱子学・社会契約論・「自然」「文明」
5	「自然」と「作為」(2)	「近世日本政治思想における「自然」と「作為」「科学としての政治学」ほか
6	「政治」と「人間」（または環境と自我）	「政治の世界」「忠誠と反逆」ほか *Legitimacy と Democracy
7	ファシズム論の位相(1)	「現代における人間と政治」「軍国支配者の精神形態」ほか
8	ファシズム論の位相(2)	ナショナリズム論との関連 *Democracy と Nationalism
9	戦後日本の「平和」の位相	「三たび平和について」「明星学園講演会速記録」ほか *権力統合と外交
10	市民のための art としての政治学	「政治学入門」「「である」ことと「する」こと」ほか *権力(Power)と権利(Human right)
11	「正統と異端」(1)	2つの「正統」：Orthodoxy と Legitimacy
12	「正統と異端」(2)	「はじめに異端ありき」 / 「原型・古層・執拗低音」論との関連
13	まとめ	政治思想史における「自由」の問題
14	学期のまとめ	授業の理解度、学習度の確認

<b>成績評価の方法</b>	期末試験（または期末レポート）の結果、授業の参加度等によって総合的に評価する。
<b>成績評価の基準</b>	期末試験（または期末レポート）の結果 60%以上を合格とし、総合的に評価する。
<b>教科書</b>	文庫版または新書版の丸山眞男著作（主に以下の各書）。詳細は第1回目の講義において説明する。 ・丸山眞男『福沢諭吉の哲学 他六篇』松沢弘陽編、岩波文庫、2001年 ・丸山眞男『政治の世界 他十篇』松本礼二編、岩波文庫、2014年 ・丸山眞男『超国家主義の論理と心理 他八篇』古矢旬編、岩波文庫、2015年 ・丸山眞男『定本 丸山眞男回顧談』松沢弘陽ほか編、上・下、岩波現代文庫、2016年 ・丸山眞男『日本の思想』岩波新書、2014年（初版1961年）
<b>参考書など</b>	授業のなかで紹介する。